

令和 6 年 5 月 23 日現在

機関番号：32686

研究種目：基盤研究(A)（一般）

研究期間：2019～2023

課題番号：19H00546

研究課題名（和文）前近代海域ヨーロッパ史の構築：河川・島嶼・海域ネットワークと政治権力の生成と展開

研究課題名（英文）Maritime Networks, Islands, and Political Powers in Premodern Europe

研究代表者

小澤 実 (Ozawa, Minoru)

立教大学・文学部・教授

研究者番号：90467259

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 34,500,000円

研究成果の概要（和文）：研究計画に従った個人研究並びに海外協力者とのシンポジウムの開催を含めた全体研究の結果、以下の点が明らかにされた。第一に、ヨーロッパ半島は、その地理的条件の中に海域・河川・沼沢からなる水系ネットワークが深く組み込まれており、その歴史地理的要素を歴史展開に組み込むことは不可欠であること、第二に、ヨーロッパ前近代に政治権力の展開を論じる際には、水系ネットワーク、内陸そしてそれをつなぐ島嶼という要素を考慮することが不可欠であること、第三に、水系ネットワークを組み込んだ前近代ヨーロッパ論は地理的要件を明確化させ、今後のグローバルヒストリーのあり方に大きな影響を与えるであろうことが明らかにされた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

海域ヨーロッパという観点は、現在、歴史学並びに歴史教育において大きな影響力を持っているグローバルヒストリーの可能性をさらに拡大することが可能である。そのことは歴史学それ自体の発展であるとともに、主として理系分野に属する河川や海洋研究、環境研究、気候研究といった自然条件に関する研究分野と人文諸学を接続する役割を果たす一つの回路となることも期待される。そのような文理協業のあり方は、学問それ自体の可能性を高めるとともに、前近代研究のように多数の言語習得に基づく基礎学問を社会で維持してゆくことの重要性もまた、人間社会の探究とその適切な発展にとって不可欠であることを理解させてくれる。

研究成果の概要（英文）：As a result of the five-year research, including individual research, repeated discussions, and symposiums with overseas collaborators, the following points have been elucidated: Firstly, the pre-modern European peninsula deeply incorporates a water system network consisting of maritime areas, rivers, and lakes and marshes within its geographical conditions. It is essential to integrate these historical-geographical elements into the unfolding of historical research. Secondly, when discussing the expansion of political power in pre-modern Europe, it is essential to consider elements such as the water system network, inland regions, and connecting islands. Thirdly, it has become evident that discussions of pre-modern Europe incorporating the water system network will clarify geographical requirements and have a significant impact on the future direction of global history.

研究分野：ヨーロッパ中世史

キーワード：中世 前近代ヨーロッパ ユーラシア 海域 グローバルヒストリー 船舶 島嶼 環境

様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

本プロジェクトは、ヨーロッパ半島を囲繞する北海・バルト海・大西洋・地中海・黒海といった海域、半島内陸部を貫くテムズ川・ロワール川・ライン川といった河川、そしてとりわけ内陸と海域を結ぶゴットランドやシチリアといった島嶼に注目し、それらによって構成される海域ネットワークという観点から、前近代ヨーロッパにおける政治権力の生成と展開を見直す試みである。本プロジェクトは、ヨーロッパ史・ユーラシア史・アジア史・日本史の専門家による国際共同研究であり、他の地域の歴史との接続や比較に注目するグローバルヒストリーの手法を用いることで、他の地域や海外の学界にも成果を還元する。

2. 研究の目的

(1) 前近代ヨーロッパ半島における海域・河川ネットワークの歴史地理学的再現

本プロジェクトでは、前近代ヨーロッパ半島に生成展開した農村・都市・教会・領邦・国家・連合王国・「帝国」といった様々なレベルの政治権力のうち、研究代表者・研究分担者・研究協力者が専門とするものをケーススタディとして選別し、それらの政治権力が関係していた海域・河川ネットワークを歴史地理学的に再構成する。

(2) 海域ネットワークと政治権力との相互関係の解明

(1)で明らかにしたネットワークを、各政治権力がどのように利用していたのかを考察する。具体的には、文献史料・図像史料・考古学資料などを利用し、現地政治権力や外部から移動してきた政治権力が、外交交渉・交易取引・戦争・艦隊艦装といった国家レベルから橋の設置や漁労権の設定など村落レベルに至るまで、海域・河川をどのように自らの活動のために利用していたのかという点に注目する。

(3) 島嶼から見た政治権力の生成と展開

(1)で明らかにした海域ネットワーク上にはアイスランド、マン島、ゴットランド島、バレアレス諸島、シチリア島、クレタ島などのように数多くの島嶼が存在する。島嶼は海域ネットワークと大陸要素の結節点にあたる重要拠点であり、特定権力の支配下にあつたとしても、当該政治権力の他の支配領域とは異なる独自の歴史が展開されてきた。メンバーは、それぞれの担当地域で検討した海域・河川ネットワークを前提とした上で、対象とする政治権力がその領域内に存在する島嶼をどのように利用したのかという点に注目し、島嶼と政治権力との関係を明らかにする。

(4) 海域ヨーロッパという観念の導入とグローバルヒストリーとの接続

以上の個別成果をもとに本プロジェクトでは大西洋、北海、バルト海、黒海、地中海という海域に囲繞された前近代ヨーロッパ半島を対象とし、すでに世界の学界で確立している海域アジア (Maritime Asia) に対応する海域ヨーロッパ (Maritime Europe) というべき観念の構築をすすめる。さらに海域でつながれた海域ヨーロッパという観念は、グローバルヒストリーで熱心に論じられているネットワーク論と比較論に関わる二つの新しい課題を生させる。一つは、海域ヨーロッパの外部であるアフリカ、中央ユーラシア、西アジア、海域アジアといった単位地域とどのようなネットワークを結んでいたのか、もう一つは、海域で囲繞された世界の諸地域 (日本や東南アジアなど) や海域のない世界 (中央アジアなど) と比較することで、海域に囲まれた世界の歴史的特徴が何かという問いである。

3. 研究の方法

明らかにすべき内容は上記2.「研究の目的」で述べた。具体的には、研究代表者・分担者・補助者がそれぞれの個別検討対象に関して先行研究の整理と史料・考古データを用いた史料分析を行う。

以上を達成するために、研究代表者は、研究組織を統括+5つのセクションに分割し、データ整理を担う補助員を伴う事務局を設置する。5つのセクションとは、海域・島嶼・河川を通じて海域という視点から歴史を論じる枠組みを提起する理論セクション並びに、北方海域、地中海海域、内陸水系、黒海・アジア海域という、ヨーロッパ半島を引用する四つの海域で区分されたセクションである。各セクションでは、当該セクションに関連する海域研究の(1)研究史整理+文献収集、(2)動植物の分布や天候などのエコサイクルと海域・島嶼・河川ネットワークの視覚化、(3)(2)で視覚化されたネットワークへの現地政治権力による利用や干渉の分析を各自が行う。

以下に組織を記述する。メンバーは各セクションにおいて担当する海域・河川圏と島嶼の二つの担当をもつ。各セクションは代表者をおき、研究代表者と緊密に連携する。

統括：小澤実（研究代表者@立教大学）+事務局（研究補助者2名）

セクション1：理論セクション

セクション2：北方海域：北大西洋島嶼、マン島、ゴットランド島など

セクション3：地中海海域：バレアレス諸島、シチリア島、エーゲ海島嶼

セクション4：内陸水系：ローヌ川・セヌ川・ライン川・ドナウ川・ヴォルガ川

セクション5：黒海・アジア海域：クリミア半島、ホルムズ島、アジア海域島嶼

4. 研究成果

5年間のプロジェクトの経過を随時報告するために、都度活字成果として刊行した。個別の成果は業績一覧に示されているので、ここでは全体に関わる大きな成果を中心に提示する。

第一段階として、日本の学界に海域とグローバルヒストリーとの関係を共有するために、研究代表者・分担者・海外の研究協力者の最新の研究成果を、次の三つの雑誌特集で紹介した。「特集：グローバルヒストリーと中世ヨーロッパ(1)イギリスの視点」(『史苑』80-1, 2020)ではイギリスの学会動向を、「特集：グローバルヒストリーと中世ヨーロッパ(2)ドイツ語圏の視点」(『史苑』80-2, 2020)ではドイツ語圏の学会動向をまとめた。とりわけ後者で研究代表者が執筆した「中世グローバルヒストリーの潮流」は、本プロジェクトの展望を踏まえた整理を行なった。また「中世の帝国：ネットワークの諸相」(『西洋史研究』新輯49, 2020)ではネットワーク論からの中世帝国理解を論じ、研究代表者による「ネットワーク化されたスカンディナヴィア世界における海上「帝国」の形成-船舶, 交易中心地, イェリング王権-」で、本プログラムの個別事例検討の見通しをつけた。

次の段階として、個別の研究成果をさまざまなプロジェクトの中で報告することを通じて、内外の中世史研究において海域研究と本プロジェクトの重要性を認知させた。『中近世ヨーロッパ史のフロンティア』(ミネルヴァ書房, 2021)、高山博・亀長洋子編『中世ヨーロッパの政治的結合体：統治の諸相と比較』(東京大学出版会, 2022)は、本邦における最先端のモノグラフを集めた論集であるが、ここにおいて、研究代表者並びに多くの分担者が自説を展開した。さらに歴史学界において長年利用されるであろう以下の叢書と教科書にお

いて、研究代表者と分担者が執筆を行なった。『岩波講座世界歴史』(岩波書店)、『歴史の転換期 1347 年』(山川出版社)、『論点・西洋史学』『論点東洋史学』(ミネルヴァ書房)という、いずれも影響力の大きい叢書では、海域・権力・グローバルヒストリーという観点での論点を盛り込んだ論考が複数掲載された。

以上のプロセスの過程で議論を当初より拡大する副産物も生まれている。西洋中世学会第 14 回大会シンポジウムに基づく、「危機を前にした人間：西洋中世における環境・災害・心性」(『西洋中世研究』14, 2022)では、海域論をさらに広げ、気候や環境の重要性とそれに影響される人間の心性を多様なディシプリンで検討することにより歴史研究の可能性を広げた。オンラインプロジェクトに基づく「特集：天草灘かくれキリシタンの世界：松浦家文書から見た生業、交易、島嶼ネットワーク」(『史苑』82-1, 2023)では、本プロジェクトの方法論が日本の事例においても十分通用することが示された。2022 年度西洋史研究会大会共通論題に基づく「13 世紀ユーラシアにおけるキリスト教世界とモンゴル帝国」(『西洋史研究』新輯 52, 2023)並びに Minoru Ozawa et al. (ed.) *Communicating Papal Authority in the Middle Ages* (Routledge, 2023)では、中世の普遍権力である教皇庁という観点から海域に接する政治権力のあり方を考察する基礎的な検討が可能となった。いずれも、プロジェクト当初は想定していなかった論点であり、それぞれが新しい論点として展開される可能性を持っている。

以上 5 年間のプロジェクトにより得られた結果を、研究目的に即する形で提示したい。

「前近代ヨーロッパ半島における海域・河川ネットワークの歴史地理学的再現」に関しては、従来意識されにくかったヨーロッパ半島を取り囲む水系(河川・河川・湖沼)ネットワークとそれで繋がれる人的集団、交換物資、そしてそれらを担保する人間が構築した交易地や船舶というシステムの実態と関係が徐々に解明されつつある、と言える。とりわけ海域や河川に隣接する交易地や都市の持つ海域と内陸を繋ぐ機能とその地理的分布が、前近代におけるヨーロッパ半島の特徴として、より一層明確化された。

「海域ネットワークと政治権力との相互関係の解明」については、もとより深い関係が想定されていた北欧は言うまでもなく、従来陸の論理で説明されてきたフランク王権、イングランド王権、東欧諸国、ルーシ諸国家、イタリア諸政体なども、水系ネットワークを利用しつつそこへの介入を強め権力拡大を図るあり方が共有された。

「島嶼から見た政治権力の生成と展開」に関しては、島嶼が中継地として水系ネットワークと内陸ネットワークを繋ぐ役割は当初より予想されていたが、例えば領域のかなりの部分が島嶼より構成されるデンマークや地中海の要衝となるシチリアなどにおける権力体が、島嶼という立地を利用して、周囲の政体とは異なる政治決定を行う状況が示された。今後、政治権力の分析においては、こうした島嶼の関わりを抜きには論じることとは困難になるだろう。

「海域ヨーロッパという観念の導入とグローバルヒストリーとの接続」では、上記三点の明確化により、海域ヨーロッパという観念が、海域アジアと同様に、歴史的検討の対象として有効であり、それが従来のヨーロッパ史理解を大きく覆すことが判明した。これは、どちらかといえば具体的な地理情報を抜きに人やものの移動を論じがちであった従来のグローバルヒストリーの支配的記述に、ゾミアを提唱した James Scott の議論がそうであったように、より具体的な歴史地理学的要素を注入して地域とグローバルの関係を再定位することの意義が見出せたと言える。

以上の研究の展開と論点の拡大を踏まえて、最終年度では、全体を総括する試みを行った。

第一に、研究代表者は、世界最大の中世研究集会 Leeds International Medieval Congress で招待講演「Making of Ship-Centred Communities in the Viking Age: Social Units, Maritime Networks, and the Global Entanglements of Historiography」を行なった。研究代表者は、当該科研の成果を踏まえて、ここでは当該科研の射程を世界中世史研究者と共有した（「2023年リーズ国際中世学会に参加して」（『史苑』84-1, 2024））。第二に、研究代表者並びに分担者は、23年10月6-8日に三日間に渡り、これまで構築した人的ネットワークを活用し、「Water Networks, Islands, and Political Powers in the Global Middle Ages」を開催した海外から中世海域史の可能性を広げる研究を刊行している Christian Cooijmans (University of Liverpool)、Marek Jankowiak (University of Oxford)、Louis Sicking (Vrije Universiteit Amsterdam / University of Leiden)、Flavio Miranda (University of Porto, CITCEM)、Hyunhee Park (CUNY)を招聘したこの会議では、本プロジェクトの射程が持つ国際的価値を海外の専門家と共有した。第三に、研究代表者と分担者そして協力者の一部は、11月24-25日に「14-17世紀ユーラシア西部における政治秩序モデルの構築：自然環境・信仰体制・統治構造」を開催した。ここでは当該科研を次の段階へと移行させる議論を検討の上整理した。以上の成果を踏まえた上で現在、研究代表者・分担者・協力者らによって、日本語と英語による総括論集を準備中であることを言い添えておく。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計65件（うち査読付論文 46件 / うち国際共著 4件 / うちオープンアクセス 41件）

1. 著者名 小澤実	4. 巻 52
2. 論文標題 13世紀ユーラシアにおけるキリスト教世界とモンゴル帝国：コメント（2）	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 西洋史研究	6. 最初と最後の頁 213-218
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小澤 実	4. 巻 84
2. 論文標題 二〇二三年リーズ国際中世学会に参加して	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 1～29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.14992/0002000371	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 小澤実	4. 巻 55
2. 論文標題 トールキン・ルーン文字・JRPG	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 ユリイカ	6. 最初と最後の頁 233-248
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小澤実	4. 巻 58
2. 論文標題 ヴァイキングとジェンダー研究：初期中世北欧をめぐる自然科学・考古学・文献史学の新展開	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 東海史学	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Hayakawa Hisashi、Murata Koji、Owens Mathew J、Lockwood Mike	4. 巻 530
2. 論文標題 Analyses for graphical records for a total solar eclipse in May 1230: a possible reference for the "Medieval Grand Maximum"	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Monthly Notices of the Royal Astronomical Society	6. 最初と最後の頁 3150-3159
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/mnras/stad3874	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 村田光司	4. 巻 11
2. 論文標題 長塚安司氏旧蔵のビザンティン聖堂調査資料群 記憶と記録の保存及び活用に向けて	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Waseda RILAS Journal	6. 最初と最後の頁 267-278
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 村田光司	4. 巻 52
2. 論文標題 東と西のあいだで ビザンツによるモンゴル関連情報の集積・体系化・外交実践	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 西洋史研究	6. 最初と最後の頁 182-209
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Higuchi R.、Murata K.	4. 巻 X-M-1-2023
2. 論文標題 3D SCHOLARLY EDITIONS FOR BYZANTINE STUDIES: MULTIMEDIA VISUAL REPRESENTATIONS FOR HISTORY, ART HISTORY AND ARCHITECTURAL HISTORY	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 ISPRS Annals of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences	6. 最初と最後の頁 125 ~ 131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5194/isprs-annals-x-m-1-2023-125-2023	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Murata Koji, Hayakawa Hisashi, Soma Mitsuru	4. 巻 54
2. 論文標題 A critical assessment of questionable solar eclipse memories in the Byzantine Empire from the fourth to sixth centuries CE	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal for the History of Astronomy	6. 最初と最後の頁 193 ~ 212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/00218286231167185	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮野裕	4. 巻 52
2. 論文標題 13世紀ユーラシアにおける外交のかたち;ルーシとジョチ・ウルスを例として	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 西洋史研究	6. 最初と最後の頁 171-182
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮野裕	4. 巻 15
2. 論文標題 中世ルーシのサモジェルジェツ (専制君主) 概念	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 西洋中世研究	6. 最初と最後の頁 104-123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮野裕	4. 巻 62
2. 論文標題 中世ロシアの教会問答集「キリクの質問」2	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 岐阜聖徳学園大学紀要	6. 最初と最後の頁 37-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本雄	4. 巻 96
2. 論文標題 『大明別幅并两国勘合』（妙智院蔵）所収の日朝関係文書：年紀不詳の別幅四通	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 古文書研究	6. 最初と最後の頁 75-88
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本雄	4. 巻 704
2. 論文標題 雪舟筆、国宝「破墨山水図」成立事情考：追賛部分に関する検討から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 MUSEUM：東京国立博物館研究誌	6. 最初と最後の頁 7-17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤井 真生	4. 巻 1
2. 論文標題 中世チェコにおけるワインの宗教的・文化的位置づけ	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 発酵と社会	6. 最初と最後の頁 47～67
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.14945/0002000592	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 諫早庸一	4. 巻 1200
2. 論文標題 「14世紀の危機」の語り方；ヨーロッパ到来以前の黒死病	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 思想	6. 最初と最後の頁 9-32
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Isahaya Yoichi	4. 巻 22
2. 論文標題 Maragha Ceased to Function: The Tusi Family's Intellectual Network and Il-Khanid Political Itinerance	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Crossroads	6. 最初と最後の頁 1~24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1163/26662523-bja10018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 諫早庸一	4. 巻 70
2. 論文標題 ハンの巡行; ジョチ・ウルスにおける 移動 のポリティクス	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 スラブ研究	6. 最初と最後の頁 105-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoichi Isahaya	4. 巻 10
2. 論文標題 Did the Climate Change Shake the Empire? The Case of the Mongols in the 1270s and '80s	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Ecological and Environmental History	6. 最初と最後の頁 5-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小澤 実	4. 巻 83
2. 論文標題 序 (<特集>天草灘かくれキリシタンの世界 : 松浦家文書から見た生業、交易、島嶼ネットワーク)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 23~26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00022557	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小澤実	4. 巻 53-3
2. 論文標題 『ヴィンランド・サガ』の歴史学 ヴァイキングの知られざる顔	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日経サイエンス	6. 最初と最後の頁 48-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鶴島 博和	4. 巻 83
2. 論文標題 天草灘とキリシタン：海からの視点 (<特集>天草灘かくれキリシタンの世界：松浦家文書から見た生業、交易、島嶼ネットワーク)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 27～41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00022558	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayakawa Hisashi, Murata Koji, Soma Mitsuru	4. 巻 134
2. 論文標題 The Variable Earth's Rotation in the 4th-7th Centuries: New T Constraints from Byzantine Eclipse Records	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Publications of the Astronomical Society of the Pacific	6. 最初と最後の頁 094401～094401
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1538-3873/ac6b56	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 宮野裕	4. 巻 62
2. 論文標題 中世ロシアの教会問答集「キリクの質問」2	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 岐阜聖徳学園大学紀要	6. 最初と最後の頁 37-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 諫早庸一	4. 巻 2022-6
2. 論文標題 キエフとモスクワのあいだ;前期代アフロ・ユーラシア史からの視界	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 現代思想2022年6月臨時増刊号 総特集 ウクライナから問う 歴史・政治・文化	6. 最初と最後の頁 262-270
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小澤 実	4. 巻 20
2. 論文標題 かくて円環は閉じる : 谷口幸男の翻訳活動と戦後日本の北欧中世研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 立教大学日本学研究所年報	6. 最初と最後の頁 13~26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021159	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 四日市 康博	4. 巻 82
2. 論文標題 序 (<特集>一四世紀の危機 : 研究の現在)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 149~154
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021491	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 宮野裕	4. 巻 61
2. 論文標題 中世ロシアの教会問答集「キリクの質問」1	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 岐阜聖徳学園大学紀要	6. 最初と最後の頁 87-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 諫早 庸一	4. 巻 82
2. 論文標題 ユーラシアから考える 一四世紀の危機 (<特集>一四世紀の危機 : 研究の現在)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 185 ~ 212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021496	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 プライザー=カペラー, ヨハネス[著] 小澤実訳	4. 巻 81
2. 論文標題 微生物学からみた初期グローバリゼーション : 二世紀から八世紀の疫病と帝国の絡み合い	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 101 ~ 116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00020427	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小澤 実	4. 巻 81
2. 論文標題 序 (<特集>今を映すもう一つの歴史記述 : 偽史・オカルト・歴史実践)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 37 ~ 43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00020434	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小澤 実	4. 巻 81
2. 論文標題 歴史実践をさかなでに読む : 偽史・オカルト・歴史実践 (<特集>今を映すもう一つの歴史記述 : 偽史・オカルト・歴史実践)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 102 ~ 112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00020441	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小澤 実	4. 巻 81
2. 論文標題 オカルト・学知・第三帝国 : カーター 『SS先史遺産研究所アーネンエルベ』の周辺 : 書評 ミヒャエル・H・カーター(森貴文監訳) 『SS先史遺産研究所アーネンエルベ : ナチスのアーリア帝国構想と狂気の学術』(ヒカルランド、二〇二〇年) (<特集>今を映すもう一つの歴史記述 : 偽史・オカルト・歴史実践)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 81~92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00020439	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小澤実	4. 巻 295
2. 論文標題 世界史教科書記述と知の歴史 : 西洋史学の視点 (小特集 今日の科学史リテラシーとは : ヒストリオグラフィと教授戦略)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 科学史研究	6. 最初と最後の頁 269~274
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小澤 実	4. 巻 81
2. 論文標題 序 (<特集>ルネサンスにおけるテキスト・知識人・政治)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 9~12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00020421	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小澤実	4. 巻 49
2. 論文標題 ネットワーク化されたスカンディナヴィア世界における 海上「帝国」の形成 - 船舶, 交易中心地, イェリング王権 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 西洋史研究	6. 最初と最後の頁 116~137
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hayakawa Hisashi, Iju Tomoya, Murata Koji, Besser Bruno P.	4. 巻 909
2. 論文標題 Daniel Moegling 's Sunspot Observations in 1626-1629: A Manuscript Reference for the Solar Activity before the Maunder Minimum	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Astrophysical Journal	6. 最初と最後の頁 194 ~ 194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/abdd34	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayakawa Hisashi, Fujii Yuri I., Murata Koji, Mitsuma Yasuyuki, Cheng Yongchao, Nogami Nagatoshi, Ichikawa Kohei, Sano Hidetoshi, Tsumura Kohji, Kawamoto Yukiko, Nishino Masaki N.	4. 巻 11
2. 論文標題 Three case reports on the cometary plasma tail in the historical documents	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Space Weather and Space Climate	6. 最初と最後の頁 21 ~ 21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1051/swsc/2020045	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murata Koji, Ichikawa Kohei, Fujii Yuri I, Hayakawa Hisashi, Cheng Yongchao, Kawamoto Yukiko, Sano Hidetoshi	4. 巻 73
2. 論文標題 Cometary records revise Eastern Mediterranean chronology around 1240?CE	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Publications of the Astronomical Society of Japan	6. 最初と最後の頁 197 ~ 204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/pasj/psaa114	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 村田光司	4. 巻 3
2. 論文標題 キルギス共和国出土ローマ・東ローマ帝国貨幣と模倣貨	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Heritex	6. 最初と最後の頁 386 ~ 395
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮野裕	4. 巻 60
2. 論文標題 キエフ府主教ヨアン2世の『カノン回答集』 中世ルーシへの導入のあり方を中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 岐阜聖徳学園大学紀要	6. 最初と最後の頁 45～62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 橋本雄	4. 巻 257
2. 論文標題 雪舟の入明事情：応仁度遣明船の関係者から考える	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 季刊・禅文化	6. 最初と最後の頁 35～46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤井 真生	4. 巻 71
2. 論文標題 中世チェコの年代記における河川	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 人文論集 = Studies in humanities	6. 最初と最後の頁 35～49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14945/00027868	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 藤井真生	4. 巻 4
2. 論文標題 中世後期の彩飾写本をめぐる研究と教育の可能性 -- 『クルムロフ宗教論集』所収の『人類救済の鏡』から --	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 フェネストラ	6. 最初と最後の頁 8～14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 諫早庸一	4. 巻 48(7)
2. 論文標題 13～14世紀アフロ・ユーラシアにおけるベストの道	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 137～144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoichi Isahaya	4. 巻 74
2. 論文標題 From Alamut to Dadu: Jam?l al-D?n 's Armillary Sphere on the Mongol Silk Roads	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Acta Orientalia Academiae Scientiarum Hungaricae	6. 最初と最後の頁 65～78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1556/062.2021.00003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小澤実	4. 巻 80(1)
2. 論文標題 「グローバルな中世」から「中世のゾミア」へ：オックスフォードの中世グローバルヒストリー	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 95-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小澤実	4. 巻 80(1)
2. 論文標題 序(特集 グローバルヒストリーと中世ヨーロッパ(1): イギリスの視点)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 7-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小澤実	4. 巻 80(2)
2. 論文標題 序(特集:グローバルヒストリーと中世ヨーロッパ(2)):ドイツ語圏の視点)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 43-48
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小澤実、諫早庸一	4. 巻 80(2)
2. 論文標題 ウィーン発の中世グローバルヒストリー:ヨハネス・プライザー=カペラー博士連続講演会	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 114-134
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小澤実	4. 巻 80(2)
2. 論文標題 中世グローバルヒストリーの潮流	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 135-166
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 宮野裕	4. 巻 59
2. 論文標題 中世ノヴゴロドにおける聖俗諸権力の管轄権:フセヴォロドの教会規定を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 岐阜聖徳学園大学教育学部紀要	6. 最初と最後の頁 38-56
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 村田光司	4. 巻 268
2. 論文標題 壁画と公文書の出会い：中世正教世界における支配者文書利用の一側面	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 西洋史学	6. 最初と最後の頁 78-91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤公美	4. 巻 838
2. 論文標題 イタリア同盟における戦争と諸国家システム 十五世紀イタリア半島の政治空間	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歴史評論	6. 最初と最後の頁 44-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤公美	4. 巻 43
2. 論文標題 海とイタリア同盟 15世紀後半イタリア半島領域国家間システムにおける地中海	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 関学西洋史論集	6. 最初と最後の頁 5-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 長谷川敬	4. 巻 86
2. 論文標題 人々が暮らす国境の「水空間」 帝政ローマ前期、生活の場としてのライン河口域とその周辺内水域	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 史潮	6. 最初と最後の頁 31-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shigeto Kikuchi	4. 巻 3
2. 論文標題 Threat and menace for stability: on the use of sanction clauses under the early Carolingians	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Spicilegium	6. 最初と最後の頁 15-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shigeto Kikuchi	4. 巻 38
2. 論文標題 ome remarks on consensual aspects in the Carolingian monastic communities	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 青山史学	6. 最初と最後の頁 37-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 諫早庸一	4. 巻 79(2)
2. 論文標題 天文学から見たユーラシアの13世紀～14世紀：文化の軸としてのナスィール・アッディーン・トゥー スィー (1201～1274年)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 88-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 諫早庸一	4. 巻 79(2)
2. 論文標題 書評：宮紀子『モンゴル時代の「知」の東西』（名古屋大学出版会、二〇一八年）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 224-243
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koji Murata	4. 巻 9
2. 論文標題 Procopius in the Far East: Japanese Language Studies and Translations	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Work on Procopius outside the English-speaking World: A Survey. Histos Supplement	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nathan Sidoli, Yoichi Isahaya	4. 巻 47
2. 論文標題 Nasir al-Din al-Tusi 's Comments on Euclid 's Data	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Historia Mathematica	6. 最初と最後の頁 87-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 四日市康博	4. 巻 79(2)
2. 論文標題 緒言 (特集: 13・14世紀はアジア史の分水嶺か?)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 27-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 四日市康博	4. 巻 79(2)
2. 論文標題 総論に代えて: モンゴル帝国 = 元朝の覇権から見た13・14世紀の諸相	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 129-146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 四日市康博	4. 巻 80(2)
2. 論文標題 声と色から読み解く歴史文書学：イランのモンゴル帝国期命令文書から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 史苑	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計36件（うち招待講演 17件 / うち国際学会 13件）

1. 発表者名 小澤実
2. 発表標題 趣旨説明
3. 学会等名 西洋中世学会第14回大会シンポジウム「危機を前にした人間：西洋中世における環境・災害・心性」（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Minoru Ozawa
2. 発表標題 Connecting commercial borders in Cnut's governance: Danegeld, commercial treaties, and Scandinavian networks
3. 学会等名 Borders, Governance, and maritime networks in the Global Middle Ages through the eyes of Japanese and European medievalists (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hirokazu Tsurushima
2. 発表標題 Herring, Market and Salt-production in Domesday 'Broads'
3. 学会等名 Borders, Governance, and maritime networks in the Global Middle Ages through the eyes of Japanese and European medievalists (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Akihiro Takahashi
2. 発表標題 Maritime Security around the Insular Kingdom of Sicily after the Sicilian Vespers
3. 学会等名 Borders, Governance, and maritime networks in the Global Middle Ages through the eyes of Japanese and European medievalists (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yasuhiro Yokkaichi
2. 発表標題 Was the Island of Hormuz a Port State?: The Kingdom of Hormuz under Mongol Rule
3. 学会等名 Borders, Governance, and maritime networks in the Global Middle Ages through the eyes of Japanese and European medievalists (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小澤実
2. 発表標題 コメント
3. 学会等名 13世紀ユーラシアにおけるキリスト教世界とモンゴル帝国(2022年度西洋史研究会大会共通論題)(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 宮野裕
2. 発表標題 13世紀のルーシとジョチ・ウルスとの外交の形
3. 学会等名 13世紀ユーラシアにおけるキリスト教世界とモンゴル帝国(2022年度西洋史研究会大会共通論題)(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 村田光司
2. 発表標題 東と西のあいだで：ビザンツによるモンゴル関連情報の集積・体系化・外交実践
3. 学会等名 13世紀ユーラシアにおけるキリスト教世界とモンゴル帝国（2022年度西洋史研究会大会共通論題）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 諫早庸一
2. 発表標題 両海の覇者たち; ジョチ・ウルスにおける 移動 のポリティクス
3. 学会等名 第58回野尻湖クルルタイ [日本アルタイ学会]
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Minoru Ozawa
2. 発表標題 Making and manipulating communities through ships: alternative aspect of state formation in maritime stateless spaces in early Scandinavi
3. 学会等名 第12回海域ヨーロッパ研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小澤実
2. 発表標題 ハーラル青歯王支配下の海峡：港市、イェリング・モニュメント、ヴァイキング国家
3. 学会等名 港市国家科研 第7回月例研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小澤実
2. 発表標題 シンポジウムの射程：海老沢有道の遺産をふまえて
3. 学会等名 公開シンポジウム「天草灘かくれキリシタンの世界：松浦家文書から見た生業、交易、島嶼ネットワーク」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yoichi Isahaya
2. 発表標題 Isolated but Close to the Sky
3. 学会等名 第12回海域ヨーロッパ研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hitomi Sato
2. 発表標題 The Art of Not Being Governed in the "State-full" Late Medieval Italian Peninsula
3. 学会等名 第12回海域ヨーロッパ研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鶴島博和
2. 発表標題 天草灘とキリシタン - 海からの視点
3. 学会等名 公開シンポジウム「天草灘かくれキリシタンの世界：松浦家文書から見た生業、交易、島嶼ネットワーク」（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Shigeto Kikuchi
2. 発表標題 Empire Surrounded by Seas: Carolingian Images and Perceptions of the Sea
3. 学会等名 Premodern Mediterranean Seminar (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 四日市康博
2. 発表標題 ユーラシアの視点
3. 学会等名 公開シンポジウム「天草灘かくれキリシタンの世界：松浦家文書から見た生業、交易、島嶼ネットワーク」(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hitomi Sato
2. 発表標題 Rivolte locali e rivolte sovra-regionali nell' Italia del Trecento
3. 学会等名 Attività formative per il dottorato di ricerca in Studi Storici: Eta antica e medievale, Università degli Studi di Milano (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hitomi Sato
2. 発表標題 Reflection from the project Spatial and Social Mobilities in the Medieval and Early Modern Alpine Regions: Political, Religious, and Social Dynamics in Boundary Areas
3. 学会等名 Communication Maintenance in Longue Dure, Laboratorio di Storia delle Alpi, Università della Svizzera italiana (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 諫早庸一
2. 発表標題 三水系の帝国としてのジョチ・ウルス
3. 学会等名 北海道中央ユーラシア研究会第141回例会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Minoru Ozawa
2. 発表標題 Ship as Warriors' Community for a Maritime Networking Society in the Late Viking Age
3. 学会等名 The Global North: Spaces, Connections, and Networks before 1700 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小澤実
2. 発表標題 ヴァイキングによるルーン石碑の建立活動
3. 学会等名 2019年度京都女子大学史学科公開講座(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Minoru Ozawa
2. 発表標題 Making of a Maritime "Empire" in the Networking Scandinavian World: Trading Centres, Ships, and the Danish Jelling Dynasty
3. 学会等名 2019年度西洋史研究会大会(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小澤実
2. 発表標題 商品としてのセイウチの牙：北極圏のヴァイキング交易
3. 学会等名 北極域研究共同推進拠点：萌芽的異分野連携共同研究「北大西洋海域における捕獲・処理・消費・廃棄過程を通して見る自然 / 社会の関係をめぐる総合的研究」研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松本涼
2. 発表標題 13世紀アイスランドにおける宮廷奉仕と貴族の形成
3. 学会等名 京都大学西洋史読書会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Koji Murata
2. 発表標題 Political Corruption and Anticorruption in Thirteenth-Century Byzantium
3. 学会等名 Dissidence and Persecution in Byzantium: 20th Australasian Association for Byzantine Studies Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Koji Murata
2. 発表標題 Comment to "Monasteries, Ships and Islands in Byzantium"
3. 学会等名 Dr. E. Mitsiou's Lecture: Monasteries, Ships and Islands in Byzantium (Rikkyo University) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤公美
2. 発表標題 海とイタリア同盟 15世紀後半イタリア半島領域国家間システムにおける地中海
3. 学会等名 関学西洋史研究会第22回年次大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shigeto Kikuchi
2. 発表標題 Some remarks on consensual aspects in the Carolingian monastic world
3. 学会等名 Workshop: Authority and consent in medieval religious orders（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoichi Isahaya
2. 発表標題 From Alamut to Maragha: Religious Polarization and Scientific Commonalization
3. 学会等名 Mongol Empire Spring Series M.E.S.S. 2019 Workshop “Religions in Mongol Eurasia.”（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 諫早庸一
2. 発表標題 「14世紀の危機」についての環境史的考察の試み
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2019年大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoichi Isahaya
2. 発表標題 Maragha across the Euphrates: The Observatory in Mamluk Sources
3. 学会等名 The Sixth Conference of the School of Mamluk Studies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 諫早庸一
2. 発表標題 時をわたるモンゴル 13・14世紀ユーラシア、彼らは暦の統一を企てたのか
3. 学会等名 北海道スラブ研究会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 諫早庸一
2. 発表標題 「14世紀の危機」プロジェクト：現状と今後の展望
3. 学会等名 地震研究所共同利用研究集会「歴史上の自然現象をめぐる諸分野の対話」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 諫早庸一
2. 発表標題 「14世紀の危機」とは何か
3. 学会等名 北海道中央ユーラシア研究会ワークショップ「14世紀の危機」を問う：文理「融合」ではなく「協働」のために
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 諫早庸一
2. 発表標題 中国天文学を「計算」したペルシア学者；13・14世紀モンゴル帝国期ユーラシアにおける「天文対話」
3. 学会等名 北海道大学共同利用・共同研究拠点アライアンス 部局横断シンポジウム 「計算科学が 拓く汎分野研究」(招待講演)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計36件

1. 著者名 小澤 実、佐藤雄基	4. 発行年 2022年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 608
3. 書名 史学科の比較史	

1. 著者名 荒川 正晴、大黒 俊二、小川 幸司、木畑 洋一、富谷 至、中野 聡、永原 陽子、林 佳世子、弘末 雅士、安村 直己、吉澤 誠一郎、鶴島博和、藤井真生、小澤実	4. 発行年 2022年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 292
3. 書名 ヨーロッパと西アジアの変容 11～15世紀	

1. 著者名 谷口幸男、小澤実	4. 発行年 2022年
2. 出版社 八坂書房	5. 総ページ数 310
3. 書名 ルーン文字研究序説	

1. 著者名 Minoru Ozawa, Thomas M. Smith, Georg Strack, Shigeto Kikuchi, Koji Murata	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 208
3. 書名 Communicating Papal Authority in the Middle Ages (Studies in Medieval History and Culture)	

1. 著者名 岡 美穂子、小澤実、四日市康博、諫早庸一	4. 発行年 2023年
2. 出版社 清水書院	5. 総ページ数 248
3. 書名 『つなぐ世界史』1 古代・中世	

1. 著者名 Tomoyuki Masuda, Koji Murata	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Alexandros Press	5. 総ページ数 296
3. 書名 Byzantine Cappadocia	

1. 著者名 イタリア史研究会、佐藤公美	4. 発行年 2022年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 352
3. 書名 イタリア史のフロンティア	

1. 著者名 稲葉継陽、清水克行、佐藤公美	4. 発行年 2022年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 272
3. 書名 村と民衆の戦国時代史	

1. 著者名 Sonja Brentjes (Yoichi Isahaya)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 838
3. 書名 Routledge Handbook on the Sciences in Islamicate Societies: Practices from the 2nd/8th to the 13th/19th Centuries	

1. 著者名 高山 博、亀長 洋子、小澤実、菊地重仁	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 648
3. 書名 中世ヨーロッパの政治的結合体	

1. 著者名 小澤実	4. 発行年 2022年
2. 出版社 河出書房新社	5. 総ページ数 128
3. 書名 図説 中世ヨーロッパの商人	

1. 著者名 吉澤 誠一郎、石川 博樹、太田 淳、太田 信宏、小笠原 弘幸、宮宅 潔、四日市 康博、小澤実、諫早庸一	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 378
3. 書名 論点・東洋史学	

1. 著者名 社会経済史学会、馬場 哲、小澤実	4. 発行年 2021年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 746
3. 書名 社会経済史学事典	

1. 著者名 Shigeto Kikuchi	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Harrassowitz	5. 総ページ数 1128
3. 書名 Herrschaft, Delegation und Kommunikation in der Karolingerzeit. Untersuchungen zu den Missi dominici (751-888)	

1. 著者名 高田京比子、田中俊之、轟木広太郎、中村敦子、小林功、松本涼、佐藤公美、藤井真生	4. 発行年 2021年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 488
3. 書名 中近世ヨーロッパ史のフロンティア	

1. 著者名 芳澤元、橋本雄	4. 発行年 2021年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 448
3. 書名 室町文化の座標軸	

1. 著者名 Bill Mak, Yoichi Isahaya	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Brill	5. 総ページ数 297
3. 書名 Overlapping Cosmologies in Asia: Transcultural and Interdisciplinary Approaches (Crossroads - History of Interactions Across the Silk Routes, 4)	

1. 著者名 甚野尚志、高橋謙公	4. 発行年 2021年
2. 出版社 知泉書館	5. 総ページ数 364
3. 書名 疫病・終末・再生	

1. 著者名 小澤実、秋道 智彌、角南 篤他	4. 発行年 2020年
2. 出版社 西日本出版社	5. 総ページ数 237
3. 書名 海とヒトの関係学 海はだれのものか	

1. 著者名 小澤実、宮野裕、金澤 周作、藤井 崇、青谷 秀紀、古谷 大輔、坂本 優一郎、小野沢 透他	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 340
3. 書名 論点・西洋史学	

1. 著者名 小澤実、石田 勇治、佐藤 公紀、柳原 伸洋、宮崎 麻子、木村 洋平他	4. 発行年 2020年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 744
3. 書名 ドイツ文化事典	

1. 著者名 橋本雄編	4. 発行年 2021年
2. 出版社 北海道大学出版会	5. 総ページ数 306
3. 書名 再 くりかえす世界	

1. 著者名 橋本雄解説、村井 康彦	4. 発行年 2020年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 480
3. 書名 武家文化と同朋衆	

1. 著者名 橋本雄、永井晋他	4. 発行年 2020年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 240
3. 書名 中世日本の茶と文化	

1. 著者名 橋本雄、吉田 一彦、上島 享他	4. 発行年 2020年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 344
3. 書名 日本宗教史を問い直す	

1. 著者名 佐藤公美、齊藤 寛海他	4. 発行年 2021年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 756
3. 書名 イタリア史2	

1. 著者名 藤井真生、鈴木董他	4. 発行年 2020年
2. 出版社 清水書院	5. 総ページ数 376
3. 書名 侠の歴史 西洋編 上+中東編	

1. 著者名 菊地重仁、長谷川敬、中野 隆生、加藤 玄他	4. 発行年 2020年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 388
3. 書名 フランスの歴史を知るための50章	

1. 著者名 菊地重仁、三浦 徹	4. 発行年 2020年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 304
3. 書名 750年 普遍世界の鼎立	

1. 著者名 Yoichi, Isahaya, Michal Biran et al.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 University of California Press	5. 総ページ数 335
3. 書名 Along the Silk Roads in Mongol Eurasia: Generals, Merchants, and Intellectuals	

1. 著者名 佐藤公美、江川温、マルク・スミス、田邊めぐみ、ハンノ・ウェイスマン他	4. 発行年 2020年
2. 出版社 知泉書館	5. 総ページ数 390
3. 書名 東西中世のさまざまな地平	

1. 著者名 Koji, Murata, Satoshi Urano et al.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Koc University Press	5. 総ページ数 354
3. 書名 The City Basilica of Tlos	

1. 著者名 小澤実、村井 誠人、大島 美穂、佐藤 睦朗、吉武 信彦	4. 発行年 2019年
2. 出版社 小鳥遊書房	5. 総ページ数 296
3. 書名 映画のなかの「北欧」(第7章 ヴァイキング 海の覇者たち(小澤実))	

1. 著者名 小澤実、秋道 智彌、角南 篤	4. 発行年 2020年
2. 出版社 西日本出版社	5. 総ページ数 237
3. 書名 海とヒトの関係学3 海はだれのものか(6章 ヴァイキングが切り開いた北極圏交易 セイウチの牙をめぐるグローバルな経済構造(小澤実))	

1. 著者名 鶴島博和	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Kumamoto University	5. 総ページ数 352
3. 書名 前近代ユーラシア西部における貨幣と流通システムの構造と展開III・IV	

1. 著者名 四日市康博、小島道裕、田中大喜、荒木和憲	4. 発行年 2020年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 432
3. 書名 古文書の様式と国際比較（イルハン朝（モンゴル支配期イラン）の公文書 四日市康博）	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	鶴島 博和 (Tsurushima Hirokazu) (20188642)	熊本大学・大学院教育学研究科・名誉教授 (17401)	
研究分担者	村田 光司 (Murata Koji) (20793558)	筑波大学・図書館情報メディア系・助教 (12102)	
研究分担者	四日市 康博 (Yokkaichi Yasuhiro) (40404082)	立教大学・文学部・准教授 (32686)	
研究分担者	松本 涼 (Matsumoto Sayaka) (40733150)	福井県立大学・学術教養センター・准教授 (23401)	
研究分担者	宮野 裕 (Miyano Hirohsi) (50312327)	岐阜聖徳学園大学・教育学部・教授 (33704)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	橋本 雄 (Hashimoto Yu) (50416559)	北海道大学・文学研究院・教授 (10101)	
研究分担者	高橋 謙公 (Takahashi Akihiro) (50961596)	岡山大学・社会文化科学学域・准教授 (15301)	
研究分担者	藤井 真生 (Fujii Masao) (70531755)	静岡大学・人文社会科学部・教授 (13801)	
研究分担者	佐藤 公美 (Sato Hitomi) (80644278)	京都大学・人間・環境学研究科・教授 (14301)	
研究分担者	菊地 重仁 (Kikuchi Shigeto) (80712562)	東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・准教授 (12601)	
研究分担者	長谷川 敬 (Hasegawa Takashi) (90781055)	慶應義塾大学・文学部(三田)・准教授 (32612)	
研究分担者	諫早 庸一 (Isahaya Yoichi) (90831397)	北海道大学・スラブ・ユーラシア研究センター・特任准教授 (10101)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計14件

国際研究集会 International Medieval Congress in Leeds: Borders, Governance, and maritime networks in the Global Middle Ages through the eyes of Japanese and European medievalists	開催年 2022年～2022年
---	--------------------

国際研究集会 2023 Annual Conference of the Association of Asian Studies	開催年 2023年～2023年
国際研究集会 Early Medieval London and its North Sea World	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 The International Symposium on Money and Its Circulation in the Pre-Modern Western Eurasian World. Part III: Britain, the Baltic Sea, the Italian Peninsula, the Islamic World and Beyond	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Symposium: Historiographical Approach in Byzantine Studies: France and Japan	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Symposium: Seals, Signature, and Sigillography in Medieval Eurasia	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Governing A Peripheral Province: The Case of Byzantine Sicily	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Making Gold from Lead: Byzantine Sigillography and the Social History of the Byzantine Empire	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 The “Great Transition” and the “Little Ice Age”: a comparative perspective on the 14th century CE beyond Western Europe	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Volcanoes, plagues and cherry blossoms. Entangled ecologies of early medieval Afro-Eurasia, 500-900 CE	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Monasteries, ships and islands in Byzantium: a history of an “unholy” entanglement	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Medieval Empires and their Networks	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Workshop: The Eastern Mediterranean in the World History	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 済州島をめぐる東アジア海域交流史	開催年 2019年～2019年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
英国	The University of Oxford	The University of Cambridge	The University of Birmingham	他2機関
米国	Yale University	University of Missouri, St. Louis	CUNY	他1機関
オーストリア	The Austrian Academy of Sciences	University of Vienna		
ドイツ	The Academy of Goettingen			
フランス	CNRS	University of Paris		

共同研究相手国	相手方研究機関			
韓国	淑明女子大学校			
オランダ	University of Amsterdam			
ポルトガル	University of Porto			
ロシア連邦	Higher School of Economics			